



炬火を掲げていざ謳う

No.70



我らの泉鳥取

2024年2月8日(木)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念事業 演劇鑑賞



劇団四季ミュージカル

バケモノの子

を見たぞ!

去る1月18日(木)、生徒・教職員が参加して、大阪市梅田の「劇団四季シアター」でミュージカル「バケモノの子」を鑑賞しました。今回はその感想を中心にレポートします。なお、今回の行事は、PTA・同窓会の協力の下、閉校記念事業として実施したものです。

食堂で全員昼食を食べてから出発

当日は、登校後にホームルームで観劇上の注意を受け、食堂で昼食(実行委員会の支援)、その後6台のバスに分乗して、梅田の劇団四季シアターに向かいました。当日の参加者は全在籍生徒のうちの75%(約170人)、教職員は28人の参加でした。なお、校長・教頭は学校で留守番でした。

「ほんまもん」のすごさを体感しよう

ほとんどの生徒がミュージカル経験がないと思います。「同じ見るなら、『ほんまもん』を見せてやりたい」という実行委員会の思いが詰まった行事です。

当日は、学校から貸し切りバスで大阪市内、西梅田の劇団四季大阪劇場に向かいます。その後多くの一般客とともに「バケモノの子」を楽しみました。

生徒の感想

ミュージカルを見るのが初めての生徒も多く、実施後のアンケートや教室での会話で多くの生徒が「感動した」と話していました。クレジットの関係で、舞台の様子はご紹介できませんが、アンケートでの感想をまとめます。

「とても楽しかったです! 原作映画同様のキャラクター像と演出が素晴らしかったです!! 入れ替わり際の視線誘導や音の響き、シャボン玉での演出もとても綺麗でした! また見たいです!」

「話の内容もしっかりしていて、とても楽しめました。」

「声が通りやすく聞こえるし、劇団四季の凄さがよくわかりました。」

「舞台ということもあって動きが派手で、とても見やすく良かった。声も響きすぎずに通りやすく聞こえるし劇団四季の凄さがよくわかりました」

「すごく感動しました。歌もダンスも演技も何もかも素敵なもので、最高の舞台を見させていただきました。ありがとうございました。」

中には「ストーリーが原作から離れている、もう少し寄せてほしい」などの意見もありましたが、おおむね好評で、思いで深い閉校記念行事になったようでした。

なお、閉校記念事業実行委員会(同窓会・PTA)からの出費は、食事代88,000円、入場チケット(買取)1,320,000円、バスチャーター費用588,000円の合計1,996,000円でした。

